

平成 16 年度研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD) 調査票

1. 調査票記入の手引き：(研究者 DDB)
2. 新規研究者 DDB 調査票

平成16（2004）年度
研究開発支援総合ディレクトリ（ReaD）

調査票記入の手引き：研究者



この手引きは「ReaD データ入力機能」による Web 入力時にも参考にしてください。

目次

I. 回答方法について	1
II. Web での入力方法	1
III. 調査票への記入方法	3
IV. 項目ごとの詳細説明	4
1 調査票記入日（必須）	4
2 氏名（必須）	4
3 生年月日	4
4 性別	4
5 文部科学省科学研究費研究者番号	5
6 所属機関名（必須）	5
7 所属部署名	5
8 職名	5
9 連絡先	6
10 電子メールアドレス	6
11 ホームページURL（ご自身で開設されているもの）	6
12 出身大学院・研究科等	6
13 出身学校・専攻等（大学院を除く）	7
14 取得学位	9
15 現在の専門分野	9
16 現在の研究課題	10
17 研究経歴	11
18 研究職歴	11
19 受賞学術賞	12
20 所属学会	12
21 共同研究等希望テーマ	13
22 共同研究・受託研究の実績	14
23 研究業績（著書、発表論文等）	14
24 研究業績（特許）	16
25 研究業績（芸術系の活動、フィールドワーク等）	17
26 海外研究活動のための渡航回数（2003年度実績）	18
27 海外での国際会議・学会等への出席回数及び発表回数 （2003年度実績）	18
28 使用する外国語	19
29 おすすめURL	19
30 提供可能な資源（試作品、実験材料、データ等）	20
31 研究者写真〔日英両方のサイトに掲載します〕	20
32 その他	20
付録 1 コード表 A（学校機関コード）	21
付録 2 コード表 C（大学院研究科コード）	26
付録 3 コード表 D（大学学部コード）	27
付録 4 コード表 F（科研費分類コード）	28
付録 5 コード表 R（ReaD 研究分野コード）	38
付録 6 コード表 S（研究制度コード）	42

I. 回答方法について

回答時点の状況をお答え下さい。

平成 12 年度以降回答されたにも関わらずデータが登録されていない場合は、機関管理者（所属機関のとりまとめ窓口）にお申し出下さい。

(1) 継続調査票が届いた場合

- ・ 継続調査票には、既にご登録いただいている研究者情報を印刷しています。
- ・ Web からご回答いただく場合、調査票の返送は◆ 不要 ◆です。
- ・ 「Web 入力済み」と記入された場合は、調査票に書き込みがあっても ReaD 事務局では入力しません。（写真やパンフレット、要覧などの添付物については、ご指示いただいた場合のみこの限りではありません）
- ・ 調査票でご回答いただく場合は、継続調査票に記載された説明をお読みの上、この手引きの「Ⅲ. 調査票への記入方法」「Ⅳ. 項目ごとの詳細説明」を参照し、朱書きでご回答ください。
- ・ Web からご回答いただく場合は、この手引きの「Ⅱ. Web での入力方法」および「Web 入力操作ガイド」*を参照しご回答ください。
- ・ 2 通の継続調査票が届いた場合は開封し、どちらか一方に「重複のため削除」と朱書きの上、2 通ともご返送ください。
* 「Web 入力操作ガイド」は、ReaD トップページ (<http://read.jst.go.jp/>) 「調査に回答される方へ」の「Web 入力操作ガイド」からご覧になれます。

(2) 新規研究者を登録する場合

- ・ 新規研究者調査票に手書き回答いただくか、または ReaD トップページ (<http://read.jst.go.jp/>) 「調査に回答される方へ」の「新規調査票」から、「新規研究者調査票」をダウンロードし、入力後、印刷した調査票をご返送ください。その際、新規調査票の保存ファイルも一緒に送付していただきますと、ReaD 事務局でのデータ反映の際の入力ミスを防ぐことができます。
- ・ 機関管理者 ID をお持ちの方は、新規研究者を Web にて登録することができます。

(3) 研究者の登録を削除する場合

継続調査票の 1 枚目に朱書きで大きく「×」印を付け、右上余白に削除理由をご記入ください。

(4) 転出・退職・物故・不在等の場合

廃棄せず、封筒の該当理由に○を付け、機関担当窓口にご提出ください。

II. Web での入力方法

* 詳細については「Web 入力操作ガイド」をご覧ください。

- ・ Web 入力機能を使って研究者情報を更新できるのは、「ユーザ ID (研究者 ID)」をお持ちの研究者ご本人と所属機関の管理者（「機関管理者 ID」をお持ちの場合のみ）に限ります。
- ・ 機関管理者 ID は『機関管理者 ID 確認票』、研究者の「ユーザ ID」「パスワード」は、『ReaD 研究者 ID 通知票』に記載されています。
- ・ 推奨環境

Windows : Netscape6.1 以上、Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 以上

Macintosh : Netscape7.0 以上 (Internet Explorer は IE 側の問題で文字化けを起こす可能性があります。

文字化けを防ぐためには、「フォント」を「osaka」にしてください。)

- ・ ログインできない場合

< Internet Explorer >

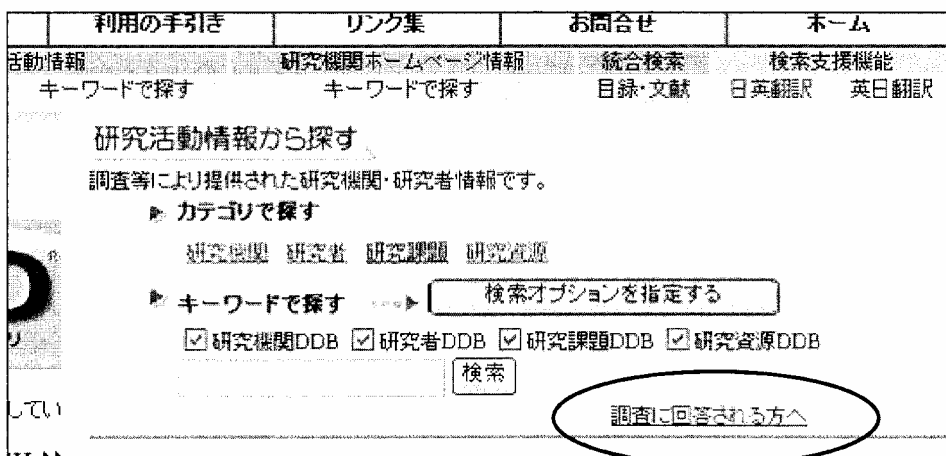
ツール→インターネットオプション→プライバシーを選択して、設定を「中」にしてください。

< Netscape >

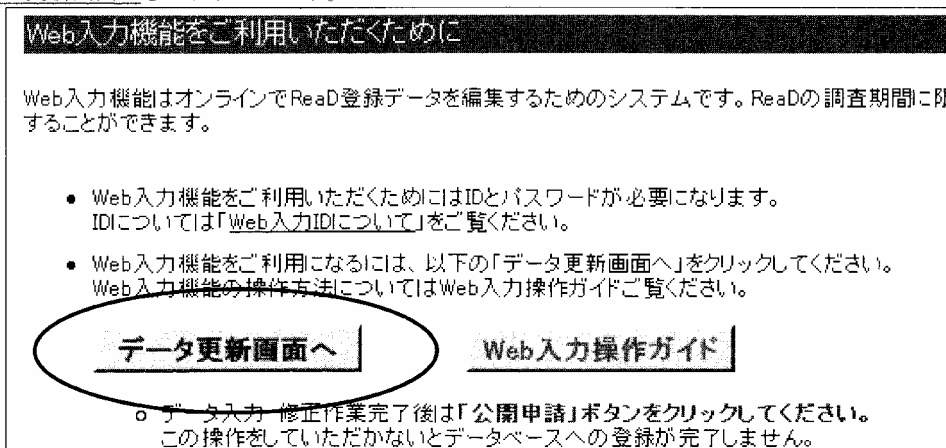
- ① 編集→設定→プライバシーとセキュリティ→Cookie を選択。「プライバシー設定に基づいて Cookie を有効にする」と「Mail&Newsgroups で Cookie を無効にする」の2箇所をチェックを入れてください。
- ② 編集→設定→プライバシーとセキュリティ→SSL を選択。SSL は全てチェックを入れてください。

【使い方】

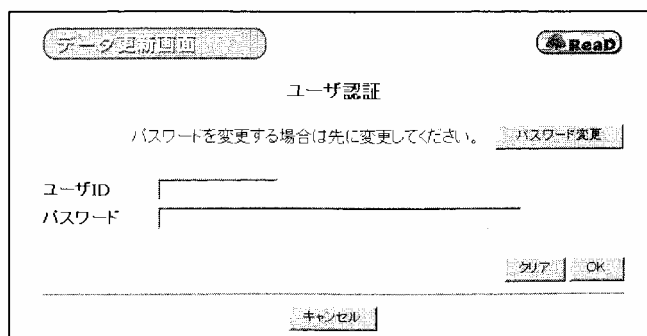
- ① ReaD トップページ (http://read.jst.go.jp/) 調査に回答される方へをクリックします。



- ② データ更新画面へをクリックします。



- ③ 「ユーザ認証」画面にて、「ユーザ ID」と「パスワード」を入力しOKボタンをクリックします。パスワードを変更する場合はパスワード変更ボタンをクリックします。



※ 編集終了後、必ず「公開申請」をクリックしてください。
更新内容は数日中にデータベースへ登録されます。

※ 所属が変わられた場合は、機関管理者（所属機関のとりまとめ窓口）にご本人の所属する機関コードを確認してから所属機関を変更してください。

※ Web 入力機能は随時ご使用になれますが、「平成 16 年度データ」として登録するため、紙回答と同じ締め切り日となっております。ご協力をお願いします。

III. 調査票への記入方法

「ReaD 研究者継続調査票」「新規研究者調査票」は、研究者ご本人がご記入ください。

【記入方法】

- ・ 調査票の回答期限は同封の『ReaD 研究者 ID 通知票』記載の〆切日となっています。記入された調査票は機関管理者（所属機関のとりまとめ窓口）にご提出ください。なお、機関によっては機関内のとりまとめのため、回答期限を事前に設定している場合がありますので、機関管理者にご確認ください。
- ・ 必須項目の欄は必ずご記入ください。
- ・ 詳細は次頁以降の「IV. 項目ごとの詳細説明」をご参照ください。本手引きの記入例は「新規調査票」の書式をもとにしているため、継続調査票とは若干書式が異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ 項目欄中の（日）および（英）の意味は原則として次の通りです。
 - （日）：日本語版サイトに公開される項目です。日本語（英語も可）でご記入ください。
 - （英）：英語版サイトに公開される項目です。英語でご記入ください。
 - （日）、（英）の表示のない項目についてはその項目の説明によりご記入ください。
- ・ 文字は丁寧に記入ください。
- ・ 文字コードは Unicode (UTF-8) を使用しています。Unicode (UTF-8) に該当する文字がない場合、文字を置き換える事がありますので、ご了承ください。
- ・ ワープロ、タイプライターによる原稿を、該当箇所には張り付けても差し支えありません。
- ・ 記入欄、記入箇所が足りない場合は、適宜用紙をコピーするなどして補い、補った用紙は調査票に綴じてください。
- ・ 記入された研究者継続調査票は、封筒に入れずに機関管理者（所属機関のとりまとめ窓口）へご提出ください。ただし、写真、研究業績リスト等を電子媒体でお送りいただく場合は調査票が入っていた封筒に入れてご提出ください。なお、お送りいただいた写真、電子媒体は返却できませんのでご了承ください。
- ・ 提出いただいた調査票に不明な点がある場合には、ReaD 事務局から照会する場合がありますので、よろしくお願ひします。
- ・ お送りいただいた回答結果は、ReaD 事務局が順次入力します。
 - * 不明な点は、ReaD 事務局へ e-mail またはお電話でご確認ください。

5 文部科学省科学研究費研究者番号

- ・お持ちの方のみ、8桁でご記入ください。
- ・8桁未満の場合は番号の先頭に0を足して8桁にし、8桁を超える場合は下8桁のみをご記入ください。

(記入例)

0	9	9	9	9	9	9	9
---	---	---	---	---	---	---	---

6 所属機関名 (必須)

ReaDにご登録いただいている機関名称を(日)のみご記入ください。ご登録名称が不明の場合は、貴機関取りまとめ担当者にご確認ください。機関コード(10桁)がわかる場合はご記入ください。

(記入例)

機関コード	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1
機関名(日)	科学技術振興大学 工学部 工学科									

7 所属部署名

所属されている部署の名称が「6 所属機関名」に含まれている場合、記入は不要です。略さず正式名称をご記入ください。

(記入例)

(日)	非平衡物質工学専攻
(英)	Department of Non-equilibratory Material

8 職名

- ・本務としての職名に対応する職名コードを下記コード表より選択し、正式名称をご記入ください。学部長と教授など、兼務している場合は複数ご記入ください。
- ・職名コードにあてはまる職名がない場合は、「13. その他」を選択してください。
- ・現在、名誉教授の称号をお持ちの方は、授与大学(高等専門学校を含む)名をご記入ください。

(記入例)

1	職名コード	0	3	下記2桁のコードを左の欄へ記入																
	職名(日)	教授																		
	職名(英)	Professor																		
2	職名コード	1	4	下記2桁のコードを左の欄へ記入																
	職名(日)	名誉教授(〇〇大学)																		
	職名(英)	Professor Emeritus(〇〇 University)																		
職名コード		01. 学長	06. 助手	11. 主任研究員	21. 大学院生(博士課程)	02. 副学長	07. 所長	12. 研究員	22. 日本学術振興会特別研究員	03. 教授	08. 館長	13. その他	23. 日本学術振興会研究員	04. 助教授	09. 部長(学部長含む)	14. 名誉教授	(リサーチ・アソシエイト)	05. 講師	10. 室長	24. 大学等非常勤研究員

9 連絡先

所属機関の連絡先をご記入ください。また、公開についての可否を選択し、○で囲んでください。

(記入例)

住所(日)	郵便番号	1	0	2	-	8	6	6	6	1. 公開可	2. 非公開	
東京	都道 府県	千代田区四番町 5-3										
住所(英)	都道府県名、郵便番号、国名もご記入ください。											
5-3 Yonbancho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8666, Japan												
電話番号(日)	03-1234-5678									1. 公開可	2. 非公開	
電話番号(英)	+81-3-1234-5678											
FAX番号(日)	03-5678-1234									1. 公開可	2. 非公開	
FAX番号(英)	+81-3-5678-1234											

10 電子メールアドレス

- ・ 研究活動で利用している電子メールアドレスをご記入ください。また、公開についての可否を選択し、○で囲んでください。
- ・ この項目は(日)(英)共通です。

(記入例)

1	xxxx@xxx.ac.jp	1. 公開可	2. 非公開
2		1. 公開可	2. 非公開

11 ホームページURL (ご自身で開設されているもの)

この項目は(日)(英)共通です。

(記入例) ※「#」が含まれるアドレス(ページ途中への直接リンク)はリンクできません。

1	http://www.jst.go.jp/~taro/
2	

12 出身大学院・研究科等

- ・ 公開についての可否を選択し、○で囲んでください。
- ・ 原則として最終出身大学院についてご記入ください。最終出身大学院に相当するもの(学制上、最も上位の課程に相当するもの)が複数ある場合(大学院博士課程を複数の大学で修了した場合等)は複数記入が可能です。その場合は重要と思われるものから順にご記入ください。

① 大学院名

- ・ 大学院名に該当するコードをコード表A(学校機関コード)からお選びください。その場合、名称の記入は不要です。
- ・ 大学院名に該当するコードがコード表Aにない場合は「9999」を選択し、正式名称を略さずご記入ください。
- ・ 外国の大学院の場合は、(日)(英)ともに原語の名称をご記入ください。

② 修了年

大学院を修了した年を西暦でご記入ください。退学等の場合は、その年を西暦でご記入ください。

③ 研究科名

- ・ 研究科名に該当するコードをコード表C（大学院研究科コード）からお選びください。その場合、名称の記入は不要です。
- ・ 研究科名に該当するコードがコード表Cにない場合は「Z9」を選択し、正式名称を略さずご記入ください。
- ・ 外国の大学院の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

④ 課程

- ・ 該当する番号を○で囲んでください。
- ・ 旧制度の学校や外国の学校を卒業している場合は、現在の我が国の学校制度にあてはめて相当する番号を○で囲んでください。

⑤ 専攻名

- ・ 専攻名をできるだけ詳しくご記入ください。
- ・ 外国の大学院の場合は、(日)には専攻名を日本語で一般的に通用する名称でご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

⑥ 修了区分

大学院の修了について該当する区分を選び、その番号を○で囲んでください。

⑦ 所在地

出身大学院の所在地が国内か国外かによって、該当する番号を○で囲んでください。国外の場合、(日)にはその国名を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。(英)には英語でご記入ください。

(記入例)

出身大学院・研究科等の公開可否							1. 公開可 2. 非公開					
1	大学院名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入	修了年(西暦)	1	9	7	7
		名称(日)	ABC大学									
	名称(英)	ABC University										
研究科名	コードC	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入			課程	1. 博士 2. 修士				
	名称(日)	DEF研究科										
	名称(英)	DEF Graduate Course										
専攻名(日)	物理学											
専攻名(英)	Physics											
修了区分	1. 修了 2. 単位取得満期退学 3. 中退 4. 除籍 9. その他											
所在地(日)	1. 国内 2. 国外(国名:)											
所在地(英)	1. 国内 2. 国外(国名:)											

13 出身学校・専攻等（大学院を除く）

- ・ 公開についての可否を選択し、○で囲んでください。
- ・ 原則として大学院を除く最終出身学校についてご記入ください。相当するもの(学制上、最も上位の課程に相当するもの)が複数ある場合(複数の大学を卒業した場合等)は複数記入が可能です。その場合は重要と思われるものから順にご記入ください。

① 学校名

- ・ 学校名に該当するコードをコード表Aからお選びください。その場合は名称をご記入いただく必要はありません。
- ・ 学校名に該当するコードがコード表Aにない場合は「9999」を選択し、正式名称を略さずご記入ください。

- ・外国の学校の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語の名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

② 卒業年

卒業した年を西暦でご記入ください。退学等の場合は、その年を西暦でご記入ください。

③ 学校の種類

旧制度の学校や外国の学校を卒業している場合は、現在の我が国の学校制度にあてはめて相当する番号を○で囲んでください。

④ 学部(学系)名

- ・最終出身学校が大学以外の場合には、この欄にご記入いただく必要はありません。
- ・出身学校が大学の場合、学部(学系)名に該当するコードをコード表D(大学学部コード)からお選びください。その場合は学部名をご記入いただく必要はありません。
- ・学部(学系)名に該当するコードがコード表Dにない場合は「Z9」を選択し、正式名称を略さずご記入ください。
- ・外国の大学の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

⑤ 学科・専攻等

- ・出身学校が大学の場合には学科ないし課程名、短期大学及び高等専門学校の場合には学科・専攻名を記入するなど、出身学校における専攻をできるだけ詳しくご記入ください。
- ・外国の学校の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

⑥ 修了区分

出身学校での卒業等の扱いについて該当する区分を選び、その番号を○で囲んでください。

⑦ 所在地

出身学校の所在地が国内か国外かによって、該当する番号を○で囲んでください。国外の場合、(日)にはその国名を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。(英)には英語でご記入ください。

(記入例)

出身学校・専攻等の公開可否						① 公開可 2. 非公開						
大学院名	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入		修了年(西暦)	1	9	7	7
	名称(日)	ABC大学										
	名称(英)	ABC University										
学校の種類	① 大学 2. 短大 3. 高専 4. その他											
研究科名	コードD	Z	9	2桁のコードを左の欄へ記入								
	名称(日)	DEF 学部										
	名称(英)	Faculty of DEF										
学科・専攻等(日)		XYZ 学科										
学科・専攻等(英)		XYZ										
修了区分	① 卒業 2. 中退 3. 除籍 4. 飛び級 9. その他											
所在地(日)	① 国内 2. 国外(国名:)											
所在地(英)	① 国内 2. 国外(国名:)											

14 取得学位

① 取得学位名

- ・ 現在までに取得している修士・博士の名称をご記入ください。
- ・ 複数の学位を取得している場合は、重要と思われるものからご記入ください。
- ・ 同一名称が付けられている修士と博士の学位でも両方を取得している場合は、両方ともその名称をご記入ください。
- ・ 名誉博士号については記入しないでください。
- ・ 平成3年7月の学位規則改訂後に国内で学位を取得された方は、学位名と学位名の専攻分野を（ ）でご記入ください。
- ・ 外国の学位を取得している場合には、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を（ ）で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

② 取得方法

あてはまる学位の取得方法を1つ選び、○で囲んでください。

③ 学位取得大学

- ・ 大学名に該当するコードをコード表A(学校機関コード)からお選びください。その場合は名称の記入は不要です。
- ・ 大学名に該当するコードがコード表Aにない場合「9999」を選択し、「取得大学名」に正式名称を略さずご記入ください。
- ・ 外国の学校の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、()内に国名をご記入ください。(英)には英語でご記入ください。

④ 取得学位分野

- ・ 取得した学位の分野に該当するコードをコード表F(科研費分類コード)からお選びください。
- ・ 取得した学位の分野に該当するコードがコード表Fにない場合には、最も近いと思われる分類コードを選択し、取得した学位の分野を最も的確に表現する名称を「分類名称」にご記入ください。

(記入例)

1	取得学位名 (日)	博士(工学)					
	取得学位名 (英)	Doctor (Engineering)					
	取得方法	①. 課程 2. 論文 3. 大学評価・学位授与機構					
	学位取得 大学	コードA	9	9	9	9	4桁のコードを左の欄へ記入
		名称(国名)(日)	XXXX大学(アメリカ合衆国)				
		名称(国名)(英)	XXXX University (U.S.A)				
	取得学位 分野	コードF	5	0	0	1	4桁のコードを左の欄へ記入
		分類名称(日)					
		分類名称(英)					

15 現在の専門分野

[ReaD 研究分野コード(コード表R)]と[科研費分類コード(コード表F)]は、両方ともご記入ください。

[ReaD 研究分野コード(コード表R)]

この分野は ReaD のカテゴリ検索に使用されます。記入がない場合、カテゴリ検索時にヒットしません。該当するコードがない場合は、最も近いと思われる分野のコードをご記入ください。

(記入例)

1	コードR	W	B	0	2	4桁のコードを左の欄へ記入
---	------	---	---	---	---	---------------

[科研費分類コード (コード表 F)]

- ・ この分類は国の統計資料として利用されます。必ずご記入ください。
- ・ 現在の専門分野に相当する分類コードがある場合は「コードF」欄にご記入ください。その場合は名称を記入する必要はありません。
- ・ 現在の専門分野に相当する分類コードがない場合は、現在の専門分野を最も的確に表現する名称を「名称」欄に該当する分類名をご記入の上、最も近いと思われる分類コードを「コードF」欄にご記入ください。
- ・ 専門分野が複数ある場合には、重要と思われる順にご記入ください。

(記入例)

	コードF	5	4	0	1	4桁のコードを左の欄へ記入
1	名称(日)	融解物性解析				
	名称(英)	Melting Physical Properties Analysys				

[研究分野を表すキーワード]

- ・ 研究分野を適切に表すキーワードがあれば、できるだけ日本語と英語を対応させてご記入ください。
- ・ (日)には句点(,)で区切り、(英)にはカンマ(,)で区切ってください。

(記入例)

(日)	鑄造、粉末冶金、金属材料
(英)	Mold, Powder Metallurgy, Metal

16 現在の研究課題

① 研究課題名

現在の研究課題名をできるだけ簡潔にご記入ください。

② キーワード

研究課題の内容を最もよく表す用語をご記入ください。

③ コードR

研究課題が密接に関連している専門分野をコード表R (ReaD 研究分野コード) より選択し、ご記入ください。

④ コードF

研究課題が密接に関連している専門分類をコード表F (科研費分類コード) より選択し、ご記入ください。

⑤ 研究態様

該当する番号を1つ選び、○で囲んでください。

⑥ 研究開始年度、研究終了年度

研究を開始した年度と終了予定の年度を西暦でご記入ください。

⑦ コードS

コード表S (研究制度コード) から1つお選びください。

(記入例) ※終了した課題を削除する場合は、日英共に×をつけてください。

1	研究課題 (日)	形状記憶合金																	
	研究課題 (英)	Shape memory alloys																	
	キーワード (日)	形状記憶、超弾性																	
	キーワード (英)	Shape memory, Super-elasticity																	
	コードR	W	B	0	2										4桁のコードを左の欄へ記入				
	コードF	5	4	0	4										4桁のコードを左の欄へ記入				
	研究態様	1. 個人研究 2. 機関内共同研究 3. 国内共同研究 4. 国際共同研究																	
	研究開始年度 (西暦)														研究終了 (予定) 年度 (西暦)				
	コードS														4桁のコードを左の欄へ記入				

17 研究経歴

- ・できるだけ日本語と英語が対応するようご記入ください。
- ・研究に携わった西暦年及び研究内容を、年代順にご記入ください。(表示可能文字数は3000バイトまでとなっております)

(記入例)

(日)	1995-2000 ABC についての研究に従事
(英)	1995-2000 Engaged in research on the ABC

18 研究職歴

- ・公開についての可否を選択し、○で囲んでください。
- ・できるだけ日本語と英語が対応するようご記入ください。
- ・学校を修了して以降、研究に関する職についていた西暦年及び職名を、年代順にご記入ください。(表示可能文字数は3000バイトまでとなっております)
- ・プロジェクトへの参加については、こちらへご記入ください。

* なお、「研究に関する職」とは、調査対象機関での研究に従事する職の他、大学等の非常勤講師、官公庁及び企業等の研究員、小中高等学校等の教員、博物館・美術館の学芸員の職等が該当します。

(記入例)

研究職歴の公開可否		① 公開可	2. 非公開
(日)	1996-1997 : ABC 大学工学部 助手 1997-2003 : 科学技術振興機構 創造科学推進事業「過冷金属プロジェクト」研究員		

(英)	1996-1997 : Research Associate, Faculty of Engineering, University of ABC 1997-2003 : Researcher, Superliquid Glass Project, ERATO, JST
-----	--

19 受賞学術賞

① 受賞学術賞名

- ・ 国内・国外の学術賞を問わず、これまでに受賞した学術賞の名称をご記入ください。複数の学術賞を受賞している場合は、主なものをご記入ください。
- ・ 国外で受賞している場合には、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

② 受賞年

受賞した年を西暦でご記入ください。

③ 国内外別

該当する番号を○で囲んでください。

* 対象となる学術賞は、学術的な業績・功績に対して、次のような機関により授与された賞をいいます。[国、地方公共団体、学協会、新聞社、財団、国際機関、外国政府等]

(記入例)

1	受賞学術賞名 (日)	日本金属学会論文賞		
	受賞学術賞名 (英)	The Thesis Prize of the Japan Institute of Metals		
	受賞年 (西暦)	1990	国内外別	①. 国内 2. 国外

20 所属学会

① 所属学会名

- ・ 国内・国外の学会を問わず、所属学会名をご記入ください。複数の学会に所属している場合は、主なものをご記入ください。
- ・ 所属団体が学会という名称でなくても、学術研究を目的とする団体は学会とみなしてください。
- ・ 国外の学会の場合は、(日)には日本語で一般的に通用する名称をご記入の上、原語での名称を()で付記してください。(英)には英語でご記入ください。

② 役職名

- ・ 役職(会長、理事等)を担当している場合、又はこれまでに担当した場合、その名称をご記入ください。
- ・ 会員のみの場合には、ご記入いただく必要はありません。

③ 役職担当年度

- ・ 学会で役職を担当した年度を西暦でご記入ください。
- ・ 複数年にわたる場合は、開始年度と終了年度を「-」(ハイフン)で区切ってご記入ください。なお、現在も継続している場合は「-」の前に担当開始年のみをご記入ください。

④ 国内外別

該当する番号を○で囲んでください。

(記入例)

1	所属学会名 (日)	日本金属学会										
	所属学会名 (英)	The Japan Institute of Metals										
	役職名 (日)	理事										
	役職名 (英)	Director										
	役職担当年度 (西暦)	1	9	9	3	—	2	0	0	2	国内外別	1. 国内

21 共同研究等希望テーマ

産学連携で行う共同研究等を希望するテーマがある場合、そのテーマについてご記入ください。

① 共同研究希望テーマ

希望する共同研究のテーマをできるだけ簡潔にご記入ください。

② 共同研究実施形態コード

下記の説明を参照し、1または2の該当する番号をご記入ください。

1. 産学連携、民間を含む他機関等との共同研究等

次の(イ)から(ニ)に該当するものとします。

(イ) 大学等研究機関が受け入れる各府省等の競争的資金制度

「競争的資金制度」については以下の URL (総合科学技術会議「競争的資金制度の制度一覧」) をご参照ください。

<http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/main.html>

(ロ) 民間企業との共同研究制度

民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、または、研究経費を受け入れて、大学等の研究者と民間企業等の研究者とが共同で行うもの。

(ハ) 受託研究制度

民間企業等外部から委託を受けて大学等の研究者が実施するもの。経費は委託者が負担し、上記(イ)「出資金事業に係る受託研究」以外の、政府、地方公共団体や民間企業等からの研究協力依頼によるもの。

(ニ) 受託研究員制度

民間企業等から現職の研究者や技術者を受託研究員として受け入れ、大学院レベルの研究の指導を実施するもの。

2. 大学等の研究機関との共同研究

大学等の研究機関の研究者との共同研究を予定している場合は、この番号をお選びください。この場合、経費については問いません。例えば科学研究費補助金による総合的な研究等が該当します。

③ 産学連携協力可能形態コード

共同研究等による産学連携の希望がある場合、その実施形態について該当するコードを選択し、その番号をご記入ください。(複数選択可) この場合の実施形態は次の目安でお選びください。

1. 技術相談：研究テーマについて企業等の研究者等からの相談に応じる程度の対応を予定している場合。
2. 受託研究：研究経費について受け入れを行い、専ら、当該研究者側の主導で研究を行う場合。
3. 共同研究：企業等の研究員を当該大学側に受け入れ、当該研究者と対等の立場で共同研究を行う場合。国立学校及び企業等において共通の課題について行う研究で、国立学校において企業等から研究者及び研究経費等又は研究経費を受託する場合。

(記入例)

1	共同研究等希望テーマ (日)	形状記憶合金の製造法の開発		
	共同研究等希望テーマ (英)	Development of the manufacturing process of the shape memory alloy		
	実施形態コード	1	産学連携協力可能形態コード	3
実施形態コード:		産学連携協力可能形態コード:		
1. 産学連携、民間を含む他機関等との共同研究等を希望する。		1. 技術相談 . 受託研究		
2. 大学等の研究機関との共同研究を希望する。		3. 共同研究 . その他		

22 共同研究・受託研究の実績

① 共同研究名

既実施された共同研究名をできるだけ簡潔にご記入ください。

② 実施年度

共同研究を実施した年度を西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は「開始年度－終了年度」とご記入ください。なお、現在も継続している場合は「開始年度－」とご記入ください。

③ 共同研究実施形態コード

共同研究の実施形態について、該当するコードを1つ選択し、その番号をご記入ください。なお、それぞれの値は次の目安でご選択ください。

1. 学内共同研究：当該共同研究に、学外者が加わっていない共同研究。経費については問いません。
2. 国内共同研究：専ら、大学等の研究機関の研究者の参加を得て実施された共同研究。この場合、経費については問いません。例えば科学研究費補助金による総合的な研究等が該当します。
3. 出資金による受託研究：「出資金事業に係る受託研究制度」により行われた受託研究。
この調査では、以下の URL に記載された一覧に該当する経費を充用して実施された研究が該当します。
<http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/main.html>
4. 企業等からの受託研究：「民間企業との共同研究制度」、「受託研究制度」、「受託研究員制度」など、民間企業等からの研究経費を受けて行われた研究。
5. 国際共同研究：国際的な規模で共同研究が行われたもの。経費については問いません。

* 共同研究実施形態コードは下欄をご参照ください。

(記入例)

1	共同研究名 (日)	形状記憶合金の製造法の開発									
	共同研究名 (英)	Joint Development of the manufacturing process of the shape memory alloy									
	実施年度 (西暦)	1	9	9	9	—	2	0	0	2	共同研究実施形態コード
共同研究実施形態コード:											
1. 学内共同研究			2. 国内共同研究			3. 出資金による受託研究					
4. 企業等からの受託研究			5. 国際共同研究			9. その他					

23 研究業績 (著書、発表論文等)

- ・ 日本語で発表した著書又は発表論文については (日) にご記入ください。

- ・ 英語で発表した著書又は発表論文については（英）に記入してください。（英）に記入した業績を日本語サイトにも公開したい場合は、日本語サイトでの表示順を「表示順（日）」にご記入ください。
- * 表示順の記入がない場合は、日本語サイトへ登録いたしません。
- ・ 記入する代わりに、研究者が独自に作成している研究業績リストを調査票に添付しても差し支えありません。
- ・ 公開不要になった研究業績を削除する場合は、×をつけてください。（日英両方に登録されている場合は両方に×をつけてください。）

① 表示順

著書・発表論文等が複数ある場合は、表示の順番を指定してください。未記入の場合は、記入された順に表示されません。

② 著書名又は発表論文の標題

- ・ 著書、発表論文（共同執筆を含む）以外に口頭発表、翻訳本などを含めても差し支えありません。
- ・ 記念論文集等の単行本に発表した論文は、その標題をこの欄に記入し、論文集の標題およびその出版社は「出版社又は掲載誌名」欄にご記入ください。
- ・ 共著の場合は、標題の末尾に「(共著)」と補記してください。（英）には「jointly worked」と補記してください。
- ・ 記入欄が足りない場合は用紙をコピーするなどして補い、補った用紙は調査票に綴じてください。

③ 出版社又は掲載誌名

単行本の場合は出版社名を、それ以外の場合は掲載誌の正式名称をご記入ください。

④ 種別

該当する番号を○で囲んでください。記入のない場合もしくは複数選択された場合は「4.その他」として登録します。

1. 単行本：雑誌、全集、叢書等に対し、一冊だけを単独に刊行した本
2. 大学・研究所等紀要：大学・研究所が出す研究論文を収載した刊行物
3. 学術雑誌(Journal)：学術研究の対象となる、あるいは学術研究に資する記事が収録されている雑誌
4. その他：上記以外

⑤ 巻号頁

掲載誌の巻・号・頁（開始頁－終了頁）をご記入ください。

⑥ 出版年

単行本又は掲載誌の出版年を西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は、「－」で開始年と終了年をご記入ください。現在も継続している場合は、開始年の末尾に「－」を付けてください。

(記入例)

1 (日)	表示順	1	記入の無い場合は末尾に登録されます		
	著書又は発表論文の標題 厚い Fe 基金属ガラス合金白薄帯の構造と磁気特性				
	出版社又は掲載誌名 日本応用磁気学会誌				
	種別	1. 単行本	2. 大学・研究所等紀要	3. 学術雑誌	4. その他
	巻 21	号 4	頁 613-616	出版年（西暦）	2002

1 (英)	表示順	(英) 2	(日) 4	記入の無い場合は末尾に登録されます	
	著書又は発表論文の標題	Stress overshoot in stress-strain curves of Zr65Al10Cu15 metallic glass			
	出版社又は掲載誌名	Applied Physics Letters			
	種別	1. 単行本	2. 大学・研究所等紀要	3. 学術雑誌	4. その他
	巻号	頁	出版年(西暦)	2002	

※ リストを添付する場合

- ・ 本欄の項目と研究業績リストの内容の対応が明確にとれるように、次ページ「研究業績添付リスト記入例」をご参照の上、リストに標題、掲載雑誌名、巻号頁等が判るように指示をしてください。指示がない場合は、入力ミスの原因となりますので、的確な指示をお願いします。
- ・ 追加分のみお送りください。既登録分を含むリストをお送りいただいた場合、研究業績が重複して登録される場合があります。
- ・ 表示順の指示がない場合は、現在登録分の末尾に追加されます。
- ・ 添付する研究業績リストは、調査票に綴じてください。
- ・ 研究業績リストを保存した電子媒体も送付していただきますと、ReaD 事務局でのデータ反映の際の入力ミスを防ぐことができます。その場合は、封筒の「電子媒体あり」を○で囲んでください。

研究業績添付リスト記入例

(標題、掲載誌、巻号、頁、出版年、掲載誌の種類を下枠内の記号で指示してください)

表示順	<i>TJ</i>	<i>JJ</i>	<i>3</i>	<i>V</i>	<i>N</i>	<i>P</i>	<i>Y</i>
日 1	「厚い Fe 基金属ガラス合金白薄帯の構造と磁気特性」	日本応用磁気学会誌	学術雑誌	21 / 4,	613-616		2002
	<i>TE</i>	<i>JE</i>	<i>3</i>	<i>V</i>	<i>N</i>	<i>P</i>	<i>Y</i>
英 1	「A Study on Teaching of Retrieval Strategy NACSIS-IR」	Studies in NACSIS-IR		6 / 25,	219-224		2003
日 2							

TJ : 標題 (和)	V : 巻	(掲載誌の種類)
TE : 標題 (洋)	N : 号	1 : 単行本
JJ : 掲載誌 (和)	P : 頁	2 : 大学・研究所等紀要
JE : 掲載誌 (洋)	Y : 出版年	3 : 学術雑誌
		4 : その他

24 研究業績 (特許)

- ・ すでに公開された特許についてご記入ください。
- ・ 日本で取得した特許については (日) のみにご記入ください。
- ・ 海外で所得した特許については (英) に記入してください。(英) に記入した業績を日本語サイトにも公開したい場合は、日本語サイトでの表示順を「表示順 (日)」にご記入ください。
- ※ 表示順の記入がない場合は、日本語サイトへ登録いたしません。
- ・ 発表論文等と同様に研究者の研究実績を表すデータとして扱いますので、研究者ご自身が発明した特許であれば、所有関係に関わらずご記入ください。
- ・ 記入する代わりに、研究者が独自に作成している研究業績リストを調査票に添付しても差し支えありません。

① 表示順

特許が複数ある場合は、表示の順番を指定してください。未記入の場合は、記入された順に表示されます。

② 特許番号

出願番号または特許番号をご記入ください。

③ 特許名

EPC 特許、PCT 特許の場合は、特許名の後ろに () 書きで、指定国名を略さずにご記入ください。

(記入例)

1 (日)	表示順	3	記入の無い場合は末尾に登録されます	
	特許番号	特許第 1234567 号		
	特許名	鋳物砂の製造方法		
2 (日)	表示順	1	記入の無い場合は末尾に登録されます	
	特許番号	特開 2002-12345		
	特許名	光透過性金属		
3 (日)	表示順	2	記入の無い場合は末尾に登録されます	
	特許番号	特願 2001-12345		
	特許名	超高純度鉄の製法		
1 (英)	表示順	(英) 1	(日) 4	記入の無い場合は末尾に登録されます
	特許番号	EPC1234567		
	特許名	The manufacture method of molding sand (German)		

※ リストを添付する場合

- ・本欄の項目と研究業績リストの内容の対応が明確にとれるように、指示をしてください。指示がない場合は、入力ミスの原因となりますので、的確な指示をお願いします。
- ・追加分のみお送りください。既登録分を含むリストをお送りいただいた場合、研究業績が重複して登録される場合があります。
- ・表示順の指示がない場合は、現在登録分の末尾に追加されます。
- ・添付する研究業績リストは、調査票に綴じてください。
- ・研究業績リストを保存した電子媒体も送付していただきますと、ReaD 事務局でのデータ反映の際の入力ミスを防ぐことができます。その場合は、封筒の「電子媒体あり」を○で囲んでください。

25 研究業績（芸術系の活動、フィールドワーク等）

項番 24、25 に該当しない研究業績（社会活動、地域活動等を含む）をご記入ください。

- ・日本での芸術系の活動、フィールドワークについては（日）のみにご記入ください。
- ・海外での芸術系の活動、フィールドワークについては（英）に記入してください。（英）に記入した業績を日本語サイトにも公開したい場合は、日本語サイトでの表示順を「表示順（日）」にご記入ください。

* 表示順の記入がない場合は、日本語サイトへ登録いたしません。

- ・記入する代わりに、研究者が独自に作成している研究業績リストを調査票に添付しても差し支えありません。

① 表示順

複数ある場合は、表示の順番を指定してください。未記入の場合は、記入された順に表示されます。

② 研究年

西暦でご記入ください。

複数年にわたる場合は、開始年と終了年を「-」（ハイフン）で区切ってご記入ください。現在も継続している場合は、開始年の末尾に「-」を付けてください。

③ 研究業績名

本欄には、例えば芸術作品・活動、建築作品名、フィールドワークその他が該当します。

④ 業績の種類

該当する番号を○で囲んでください。

(記入例)

表示順	(英) 1	(日) 1	研究年 (西暦)	2000-2003
1	研究業績名 (日)	エジプトアスワン地方における考古学的調査		
	研究業績名 (英)	Archaeological Survey in Aswan Province, Egypt		
	業績の種類	1. 芸術活動・建築作品等 2. フィールドワーク 9. その他		

※ リストを添付する場合

- ・ 本欄の項目と研究業績リストの内容の対応が明確にとれるように、指示をしてください。指示がない場合は、入力ミスの原因となりますので、的確な指示をお願いします。
- ・ 追加のみお送りください。既登録分を含むリストをお送りいただいた場合、研究業績が重複して登録される場合があります。
- ・ 表示順の指示がない場合は、現在登録分の末尾に追加されます。
- ・ 添付する研究業績リストは、調査票に綴じてください。
- ・ 研究業績リストを保存した電子媒体も送付していただきますと、ReaD 事務局でのデータ反映の際の入力ミスを防ぐことができます。その場合は、封筒の「電子媒体あり」を○で囲んでください。

26 海外研究活動のための渡航回数 (2003 年度実績)

海外での研究活動のうち、海外在留期間 2 週間以上のものと 2 週間未満のものについて、その渡航回数をご記入ください。

記入がない場合は 0 回とみなします。

* この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

在留期間 2 週間以上のもの	計	2	回
在留期間 2 週間未満のもの	計	1	回

27 海外での国際会議・学会等への出席回数及び発表回数 (2003 年度実績)

海外で開催された国際会議・学会等の学術集会への出席回数及び発表回数を、渡航旅費・滞在費等の所要経費の負担者別にご記入ください。

記入がない場合は 0 回とみなします。

渡航旅費と滞在費の負担者が異なる場合には、渡航旅費の負担者でご記入ください。

* この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

所要経費の主たる負担者	出席回数	発表回数
主催者	2 回	1 回
外国機関	0 回	0 回
文部科学省・日本学術振興会	0 回	0 回
文部科学省・日本学術振興会以外の政府関係機関	0 回	0 回
所属機関	0 回	0 回
財団等(寄付金・委任経理金含みます)	1 回	1 回
自費	0 回	0 回

28 使用する外国語

- ・ 国際的な学会等において研究成果の発表を行う場合または国際的な学術雑誌等に発表する論文を執筆する場合に、主に使用する外国語について、該当する番号をお選びください。(複数選択可)
- ・ 「7. その他」を選択した場合は、その外国語の種類を日本語で一般的に通用する名称でご記入ください。

* この項目は統計のみに使用しますので、インターネット上では公開されません。

(記入例)

[非公開 (統計用)]

- ・ 国際的な学会等での研究会で研究成果の発表に主に用いるもの

1. 英語 2. フランス語 3. スペイン語 4. ロシア語 5. ドイツ語 6. 中国語
7. その他(名称:)

- ・ 国際的な学会等に発表する論文の執筆に主に用いるもの

1. 英語 2. フランス語 3. スペイン語 4. ロシア語 5. ドイツ語 6. 中国語
7. その他(名称:)

29 おすすめURL

研究活動を行う際に役立つ Web サイトを、幅広い観点からご紹介ください (ジャンルは問いません)。

① おすすめ URL (必須)

活字体でご記入ください。

② コードR (必須)

最も近いと思われる分野コードをコード表R (ReaD 研究分野コード) から選び、先頭1桁をご記入ください。

③ URL タイトル (必須)

Web サイトの名称を、ご記入ください。

④ おすすめ理由

コンテンツの概要と具体的な利用目的などをご記入ください。

<おすすめ理由例>

調査に有用 ・ 有用な情報源 ・ 論文執筆時に利用できる など。

(記入例) ※「#」が含まれるアドレス（ページ途中への直接リンク）はリンクできません。

1 (日)	おすすめ URL	http://www.jstage.jst.go.jp/ja/index.html	
	URL タイトル	科学技術情報発信・流通総合システム	
	おすすめ理由	学会誌などの電子ジャーナル化とインターネットによるその公開の支援	
	コード R	A	先頭 1 桁のコードを左の欄へ記入
1 (英)	おすすめ URL	http://www.jstage.jst.go.jp/en/index.html	
	URL タイトル	Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic	
	おすすめ理由	Electronic journal of academic journals, etc. and support of the open by Internet	
	コード R	A	先頭 1 桁のコードを左の欄へ記入

30 提供可能な資源（試作品、実験材料、データ等）

外部に提供可能な試作品等で、公開可能なものがあれば、名称をご記入ください。

(記入例)

資源名称（日）	構造数値解析プログラム
資源名称（英）	Computer Program for Analysis of Structure System

31 研究者写真 [日英両方のサイトに掲載します]

- ・写真の掲載を希望される場合は「1.有り」を選択の上、調査票と一緒にご返送ください。なお、送付された写真は返却できませんので、ご了承ください。
- ・写真を添付される際には、証明写真（パスポートサイズまで）あるいは電子データファイル（JPEG 形式）でご送付ください。
- ＊掲載される写真は幅 160×高さ 170（単位 pixel）です。
- ・写真の裏側に研究者コードと研究者名（新規登録の方は研究者名のみ）を必ずご記入ください。
- ・写真は小さい封筒に入れ、調査票に綴じてください。
- ・研究者用個別封筒の「写真あり」を○で囲んでください。
- ・写真の掲載を希望されない場合は「2.無し」を○で囲んでください。

32 その他

上記以外で公開を希望される情報がありましたらご記入ください。

記入された研究者調査票は、機関管理者（所属機関のとりまとめ窓口）へご提出ください。ただし、研究業績リスト等を電子媒体でお送りいただく場合、または写真を添付される場合は調査票が入っていた『研究者用個別封筒』に入れてご提出ください。

ご協力ありがとうございました。